

『おすしやさん』（9月1日配信）

こんにちは、戸田です。よろしくお願いします。

今日は、おすしやさんごっこについてお話しします。

6月、7月と暑かったため、幼稚部の子どもたちは外でプールや水遊びを毎日しました。私も子どもたちと一緒に外にいたため焼けてしまいましたが、とても楽しかったです。

教室内で盛り上がった遊びと言えば、おすしやさんごっこです。子どもたちが実際に家族などと、おすしやさんに行ってきた経験をおすしやさんごっことして遊んでいます。トイレットペーパーでシャリを作り、折り紙を切って赤であればマグロ、オレンジでサーモン、いくらは黒い紙で巻いて軍艦にします。黄色を乗せて、黒で止めれば玉子など、自分で考えてたくさんの種類を作ります。

お寿司を握り皿に乗せ、お客さんに提供します。これが盛り上がるんです。

実際のおすしやさんの映像がありますのでご覧ください。

今、幼稚部で盛り上がっているのは、おすしやさんごっこです。子どもたちが大盛り上がりです。これが回転レーンでこれがお寿司です。エビに玉子、ここでは魚を捌くこともできます。シャリを握り、色紙を乗せて握り皿にのせて完成です。ここには、いろいろなネタがあります。回転レーンもちろんあります。実際に回転するんです。

どうですか、すごいでしょ。

たくさんのネタもあり、お店と同じようにレーンが回転します。先生が一生懸命に考えて作りました。回転レーンには子どもたちも大喜びです。毎日おすしやさんごっこで遊んでいます。

先生の中には回転ずしに行かない方もいます。その先生が遊びを見ると、自分の知っている回転ずしとは違うと戸惑います。例えば、タブレットで注文できることや、食べ終わったお皿を積み上げずに、回収口に投入できること、昔はお皿の色で価格が決まっていたのに、今はお皿に違いが無いことなど、子どもの遊びを通して今を知ることができます。面白いですね。